

# NISSHA

## メディカルテクノロジー 事業説明会

2021年6月11日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

鈴木順也

常務執行役員

メディカルテクノロジー事業部長

サム・ヘレバ

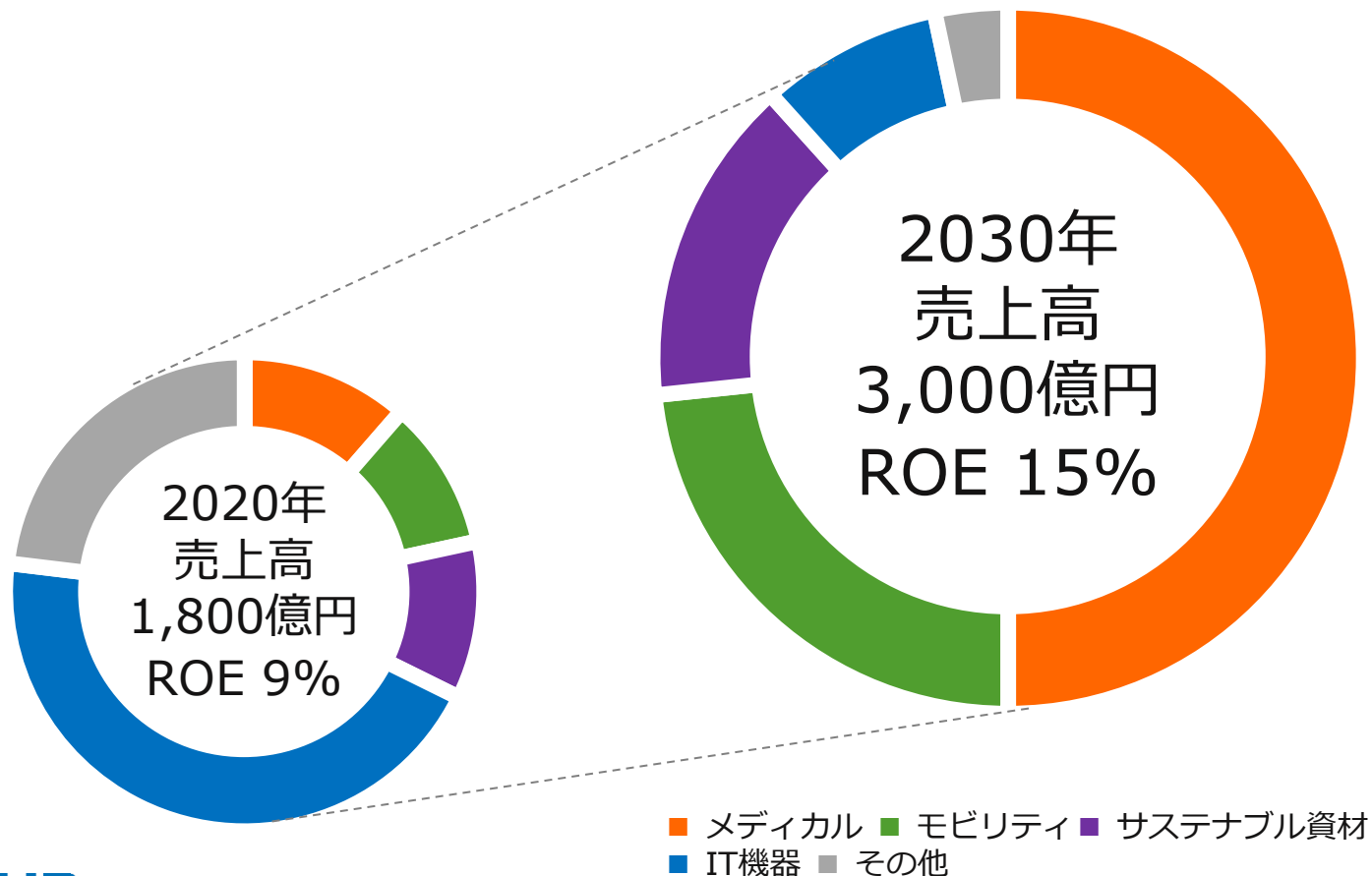
# 本日の内容

- 医療機器市場における当社の貢献領域と成長性
  - 医療機器CDMO
- メディカルテクノロジー事業の概要
- メディカルテクノロジー事業 第7次中期経営計画

# サステナビリティビジョン2030

多様な技術や人材能力の結集・融合により、メディカル・モビリティ・環境に関わるグローバルな社会課題の解決に貢献し人々の豊かな生活を実現する。

メディカル分野の事業で売上高1,500億円を目指す



# グローバル医療機器市場の課題解決に貢献する

## 環境の変化・市場の課題

- 高齢化社会の進行
- 急性疾患、慢性疾患の増加
- 医療従事者の不足
- COVID-19への対応
- 医療の財政上の持続可能性



## 医療システムの変化

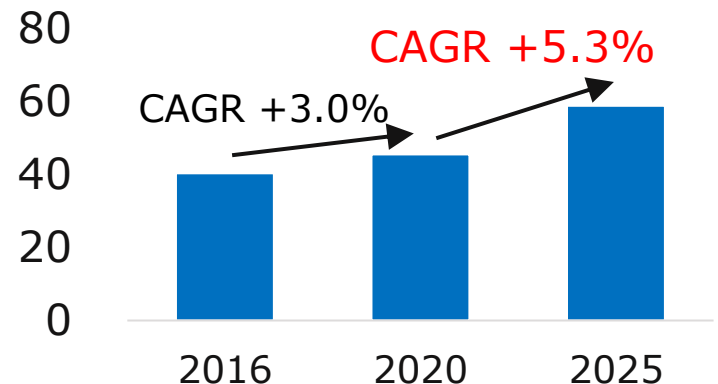
- 医療の視点  
診断・治療中心から予防/予後含む  
ケアサイクル全体へ
- 医療の発生場所  
病院中心から病院に加え地域・在宅へ
- 医療の対価の対象  
医療行為から医療処置の結果へ



## 医療機器の果たすべき役割が多様化・高度化

- 患者の負担軽減（QOLの向上）
- 在宅・遠隔で健康状態の把握・維持
- 治療行為の効率化・省力化
- AI、IoTの導入

(兆円) グローバル医療機器市場の成長は加速



# グローバル医療機器メーカー（OEM）の課題認識 に合わせ、医療機器CDMO※の事業機会が拡大

## 医療機器OEMの課題認識

### 競争優位性の確保

- 医療機器の機能の多様化・高度化に対応するため、あらゆる技術の活用が必要
- 内部で保有しない技術の積極的な外部調達が必要

### 経営の最適化

- マーケティングへのリソース集中（設計～製造の外部化）

## 医療機器CDMOの事業機会

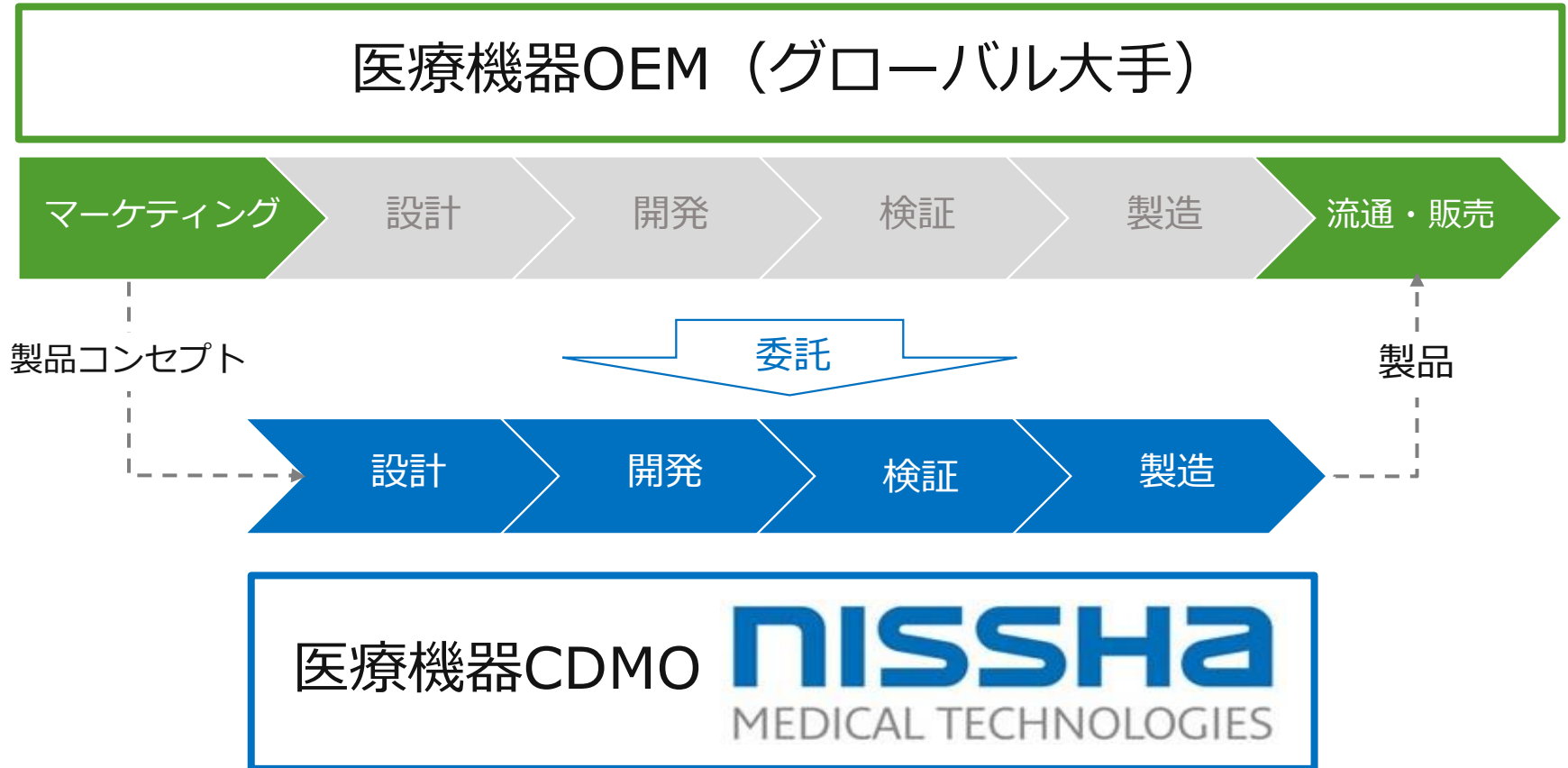
### 製品開発の受託

- 医療機器の機能向上につながる、CDMOが保有する技術の採用機会が増加
- CDMOの設計・開発能力の活用が拡大

### 製造の受託

- CDMOの製造能力の活用機会が増大

# 医療機器CDMO（NISSHAの貢献領域） 設計～製造までのワンストップサービスを提供



※CDMO : Contract Design and Manufacturing Organization

# 医療機器CDMOの価値提供のかたち

- 製品コンセプトの具現化に最適な技術と知見を提供
- 開発・検証・製造からのフィードバックによる設計能力の向上
- 製造の効率化の追求



## 保有技術と知見を活用



- 要求仕様の特定
- リスクマネジメント
- ユーザビリティ



- ラピッドプロトタイプング
- 材料開発
- 製造ライン開発 (自動化など)



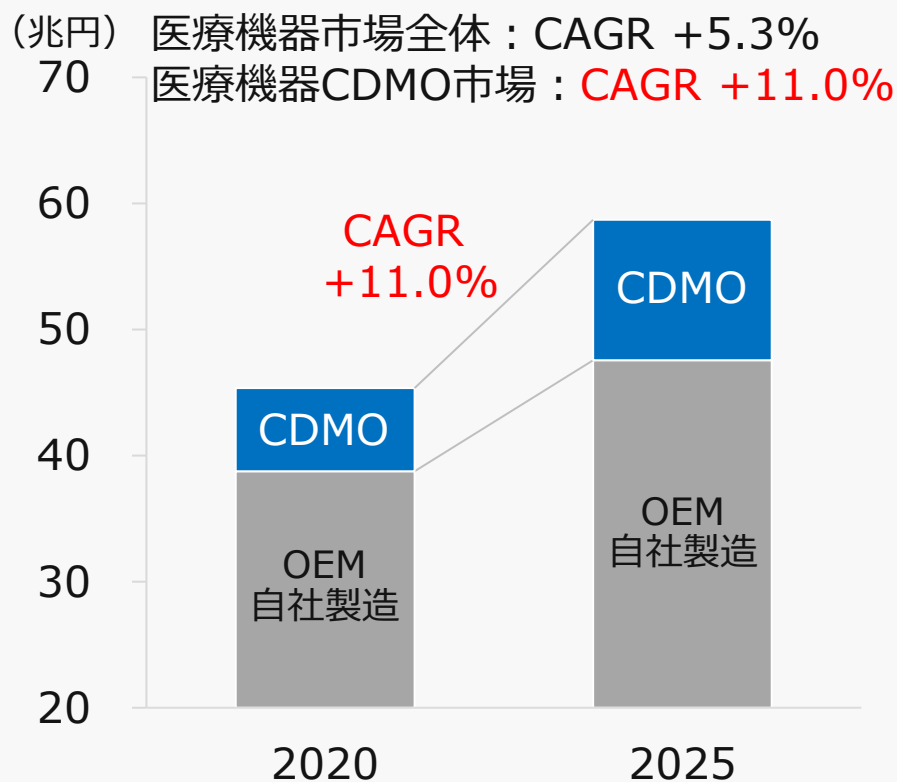
- 性能試験
- バリデーション



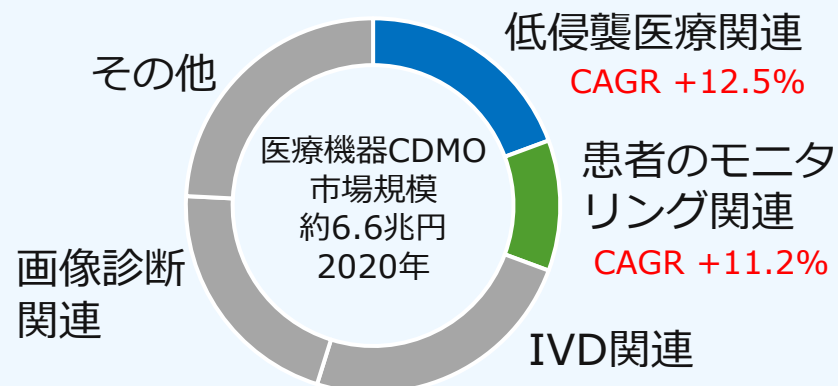
- 製造
- 品質保証

- 医療機器CDMO市場の成長率は高い
- 当社の対象セグメントである低侵襲医療用の機器、患者のモニタリング機器は年間約2兆円の市場規模（2020年）
- 当社はアメリカを中心に事業を展開

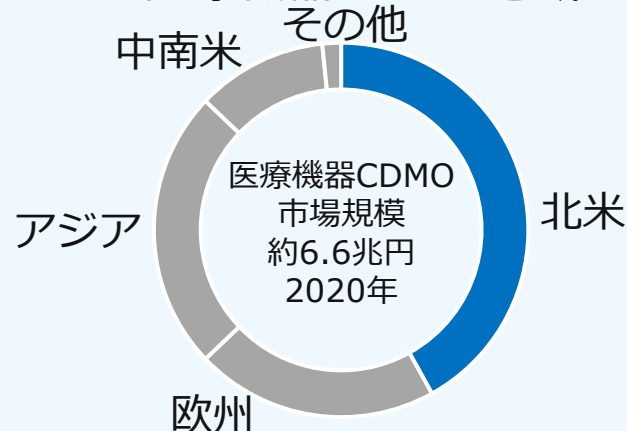
グローバル医療機器市場における  
CDMOの割合



<医療機器CDMOセグメント別>

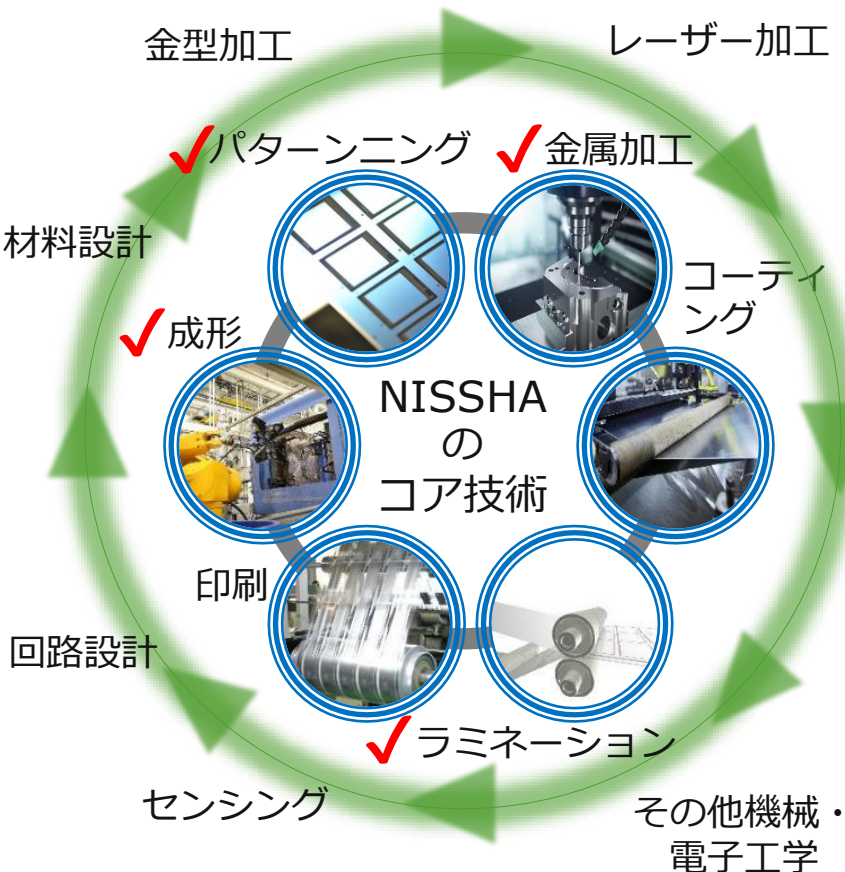


<医療機器CDMO地域別>





# コア技術 × 周辺技術の組み合わせで医療機器に求められる機能を創出



## 低侵襲医療用の手術機器

求められる機能

- 小型化
- 操作性
- センサー機能



活用されているコア技術

- 金属加工
- 成形



## 患者のモニタリング機器（医療用）

求められる機能

- 小型化・薄型化
- センサー機能
- 通信機能



活用されているコア技術

- パターンニング
- ラミネーション



# 医療機器の進化に合わせて、技術の変化と進化を促進し、将来の成長を目指す

## 低侵襲医療用の手術機器

求められる機能

- 小型化
- 操作性
- センサー機能

活用されているコア技術

- 金属加工
- 成形



低侵襲医療用の手術機器

## 患者のモニタリング機器

求められる機能

- 小型化・薄型化
- センサー機能
- 通信機能

活用されているコア技術

- パターンニング
- ラミネーション



ウェアラブルセンサー  
(医療用)

将来



ロボティクス



スマートデバイス

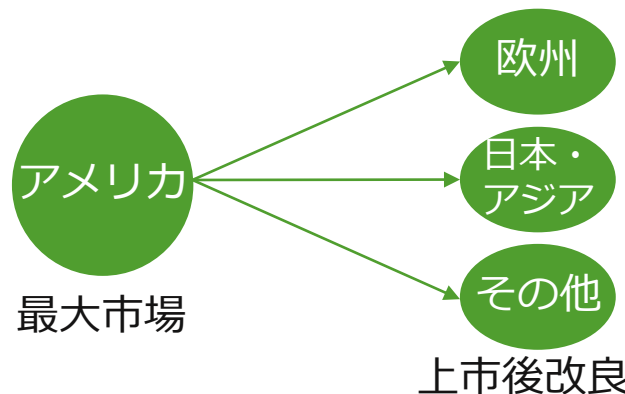
Online mobile healthcare provider



# アメリカ市場を軸に地理的拡大

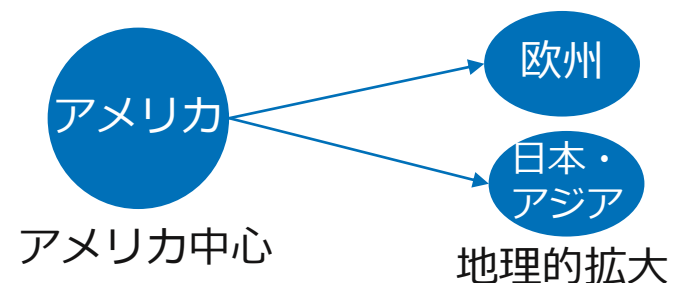
## 医療機器市場

- アメリカが最大市場にして医療最先進国
- 世界に先駆けてアメリカで医療機器を開発、上市
- アメリカで上市された医療機器を地域特性に対応して改良し、地域展開



## 当社の事業機会

- 2016年 アメリカの医療機器メーカーを買収・参入
- 医療機器OEMに隣接し共同開発
- 実績を積み上げ医療機器OEMの信頼を獲得
- アメリカの医療機器OEMの地域展開を可能にするCDMO
- 欧州、日本・アジア
- 当社の開発拠点を活用



# メディカルテクノロジー事業の概要

# メディカルテクノロジー事業 マネジメント体制



**JUNYA SUZUKI**  
代表取締役社長 兼 最高経営責任者 (CEO)



**SAM HELEBA**  
常務執行役員  
メディカルテクノロジー事業部長  
CEO-Nissha Medical Technologies



**MIKE MEMMINGER**  
Senior Vice President  
CFO



**BRANDON HOFFMAN**  
Senior Vice President &  
General Manager - NMDM



**DR. MICHAEL GAGLIO**  
Executive Vice President &  
General Manager - NMHS&CL



**STEVE OKUMURA**  
執行役員 メディカルテクノロジー副事業部長  
日本・アジア統括  
技術開発担当



**JONATHON CASEY**  
Senior Vice President,  
M&A, Marketing, Managing  
Director -Europe

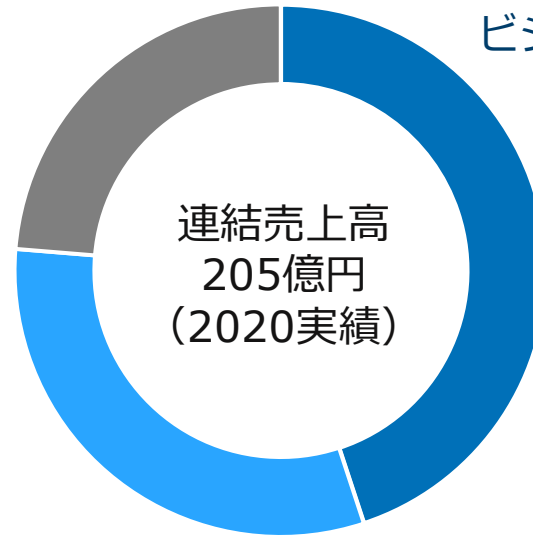


**ERIC SHERRADEN**  
Senior Vice President,  
Global Operations



**TAKEO SUGANO**  
執行役員  
メディカルテクノロジー  
副事業部長  
日本・アジア 営業担当

# メディカルテクノロジー事業は Nissha Medical Technologiesを中核会社として 北米中心に事業展開



ビジネスモデル別売上高比率

- 開発製造受託 (CDMO)
- 自社ブランド
- ビジネスメディア

医療機器

ビジネスメディア



開発製造受託  
(CDMO)

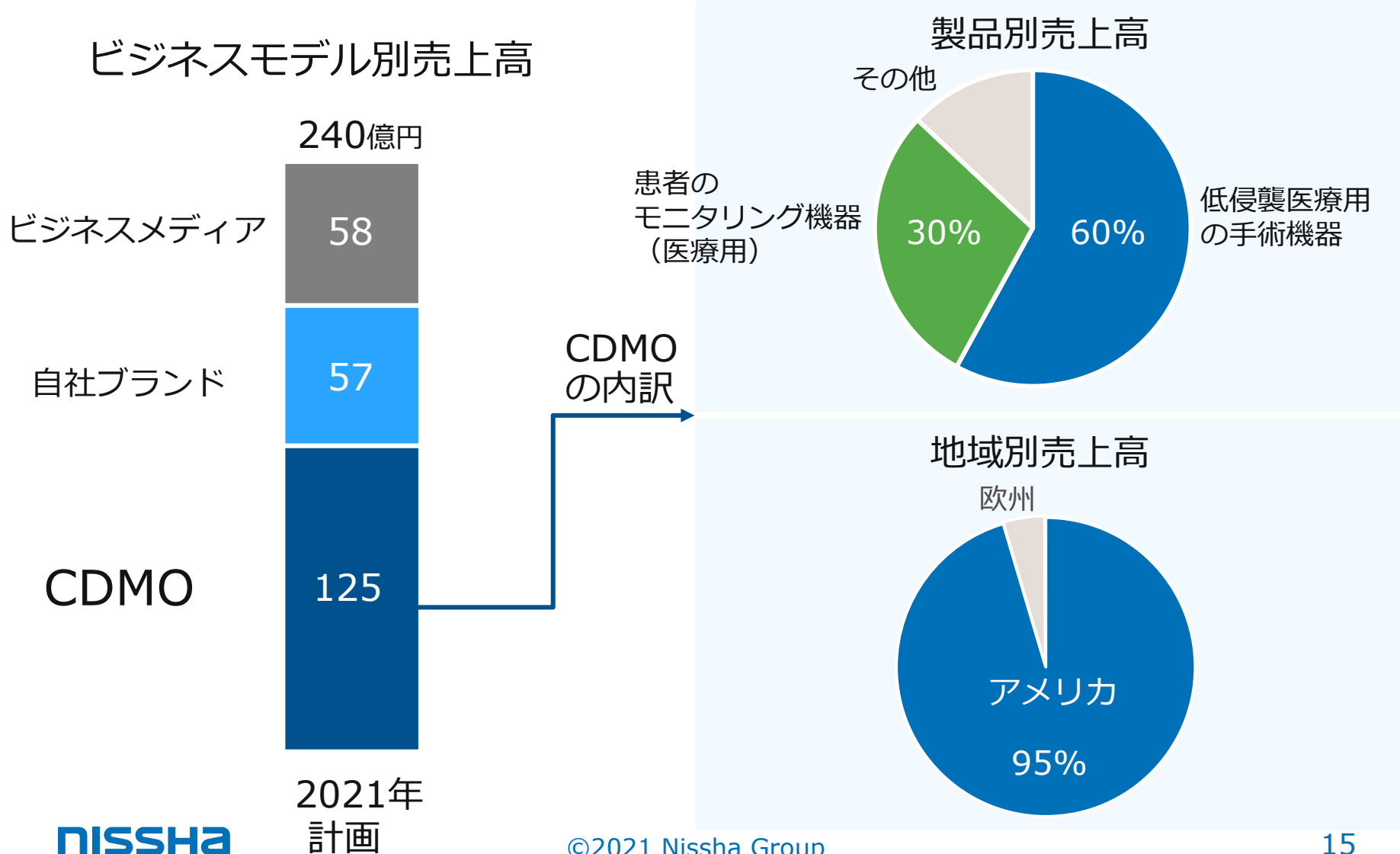


自社ブランド



# メディカルテクノロジー事業部の売上高構成

CDMOは成長市場で製品を展開



# CDMO：シングルユースの低侵襲医療用の手術機器、 患者のモニタリング機器が中心

## 低侵襲医療用の手術機器



腹腔鏡  
(可視化)



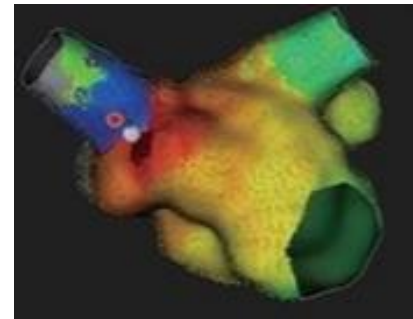
エネルギーデバイス 周辺機器  
(ケーブル、対極板など)



## 患者のモニタリング機器 (医療用)



常時モニタリング



マッピング用電極



心電用電極



# グローバル医療機器OEMとのパートナーシップ

グローバル医療機器OEM TOP10社中8社との取引実績

**Medtronic**

Johnson & Johnson

Boston  
Scientific

**OLYMPUS**

**stryker**

**Abbott**



**PHILIPS**

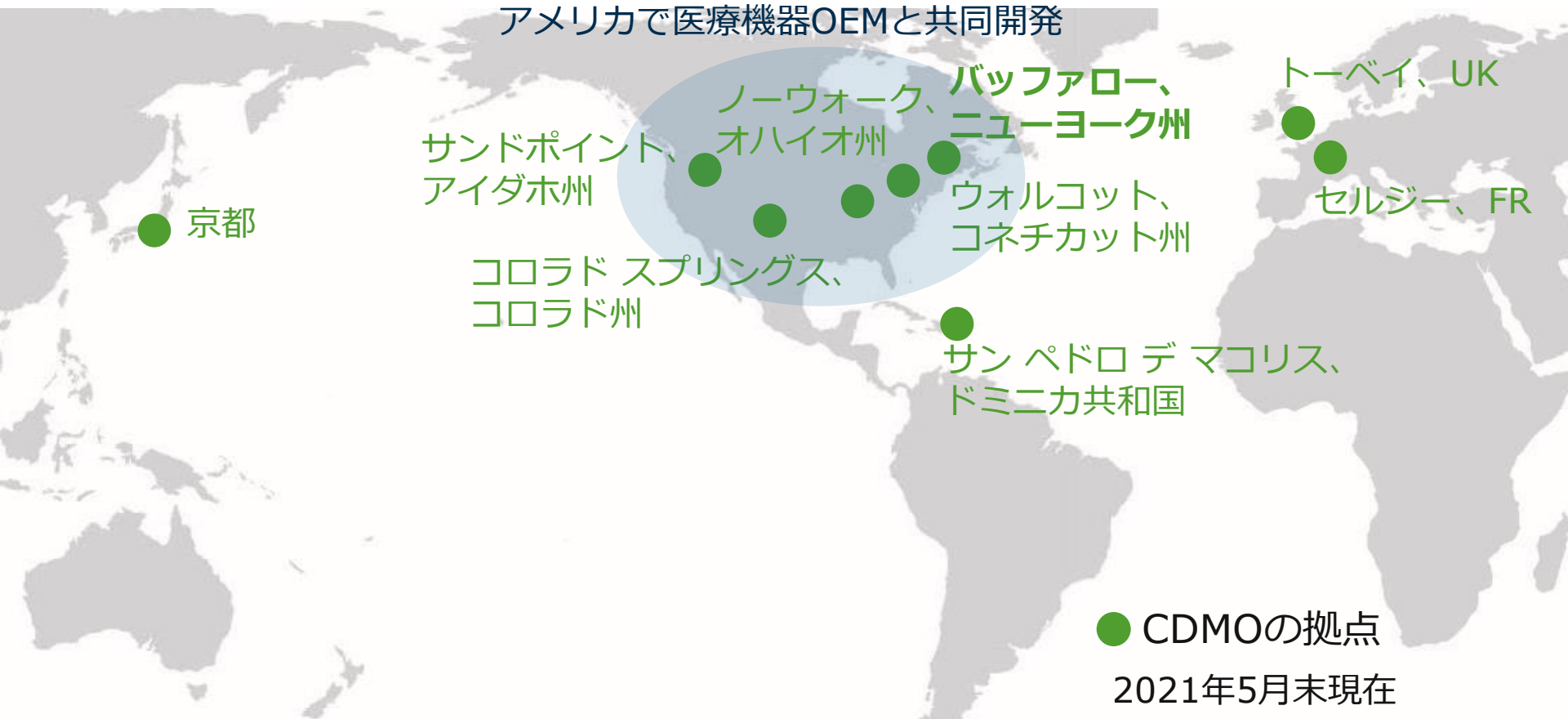


GE Healthcare

ここに表されるOEMの商標はそれぞれのOEMに帰属し、当社および当社関係会社に属するものではありません。当社および当社関係会社の製品・サービスと当該OEMの製品・サービスとの関係、関連を担保するものではありません。

# 医療先進国のアメリカを中心に拠点を展開

- 事業部の統括拠点はアメリカ（バッファロー、NY）
- アメリカの医療機器OEMに隣接し共同開発



# M&AによりCDMOの能力を拡充

- 設計・開発から製造まで垂直統合
- 加工技術の拡充
- 製品ラインアップの拡充



患者のモニタリング



開発・製造

患者の  
モニタリング機器

2014年  
LEAD-LOK  
サンドポイント



開発・製造  
価格競争力

低侵襲医療用の  
手術機器

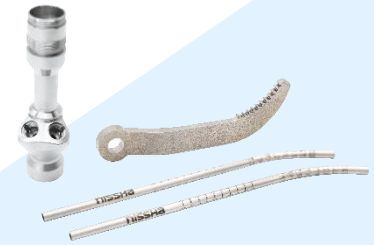
2016年  
CEA  
コロラドスプリングス  
ドミニカ



設計・開発  
垂直統合

低侵襲医療用の  
手術機器

2018年  
RSS/Sequel  
ウォルコット



開発・製造  
垂直統合

低侵襲医療用の  
手術機器

2020年  
Olympus Surgical  
Technologies America  
ノーウォーク

Graphic Controls  
バッファロー

# グローバル医療機器OEMの主力パートナーとしての地位を確立

## ●ビジョン

- 技術革新を牽引する企業と協働し、グローバル医療機器CDMOとして独自のケイパビリティを活用し、価値を創出する医療機器の実現に取り組むお客さまを支える

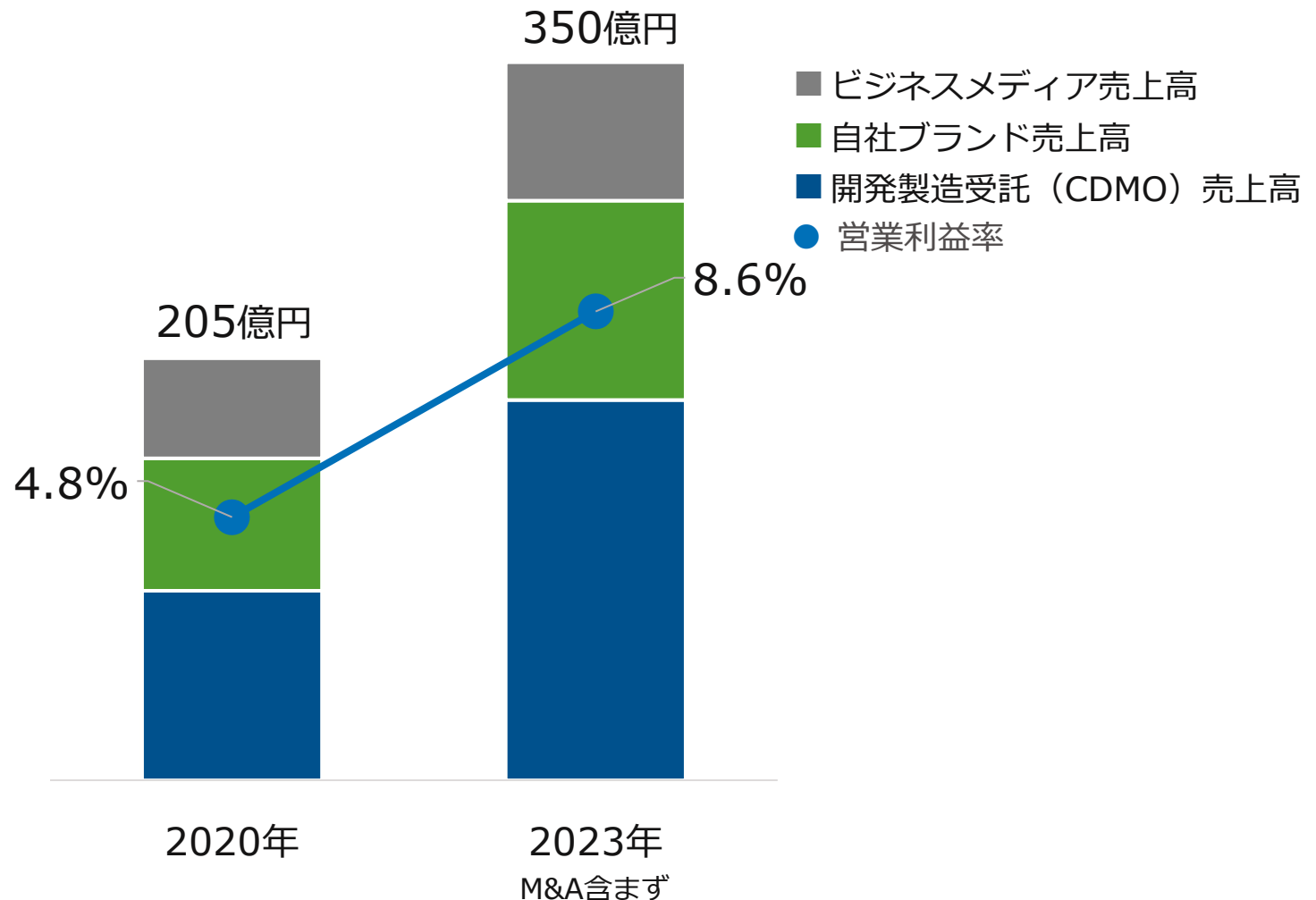
## ●戦略

- 基本戦略
  - グローバル展開する拠点を活用し、新たな事業機会を獲得
  - 医療用スマートデバイスや手術ロボットの開発・製造能力の増強
  - イノベーションセンターへの継続的な投資
- 競争優位性の確保
  - 将来の医療機器に向けた技術優位性の向上
  - 独自のケイパビリティを活用した垂直統合による競争力の向上
- M&Aを積極的に活用
  - 地理的拡大
  - コア技術の拡充
  - 垂直統合によりケイパビリティ増強
  - 設計・開発能力の獲得

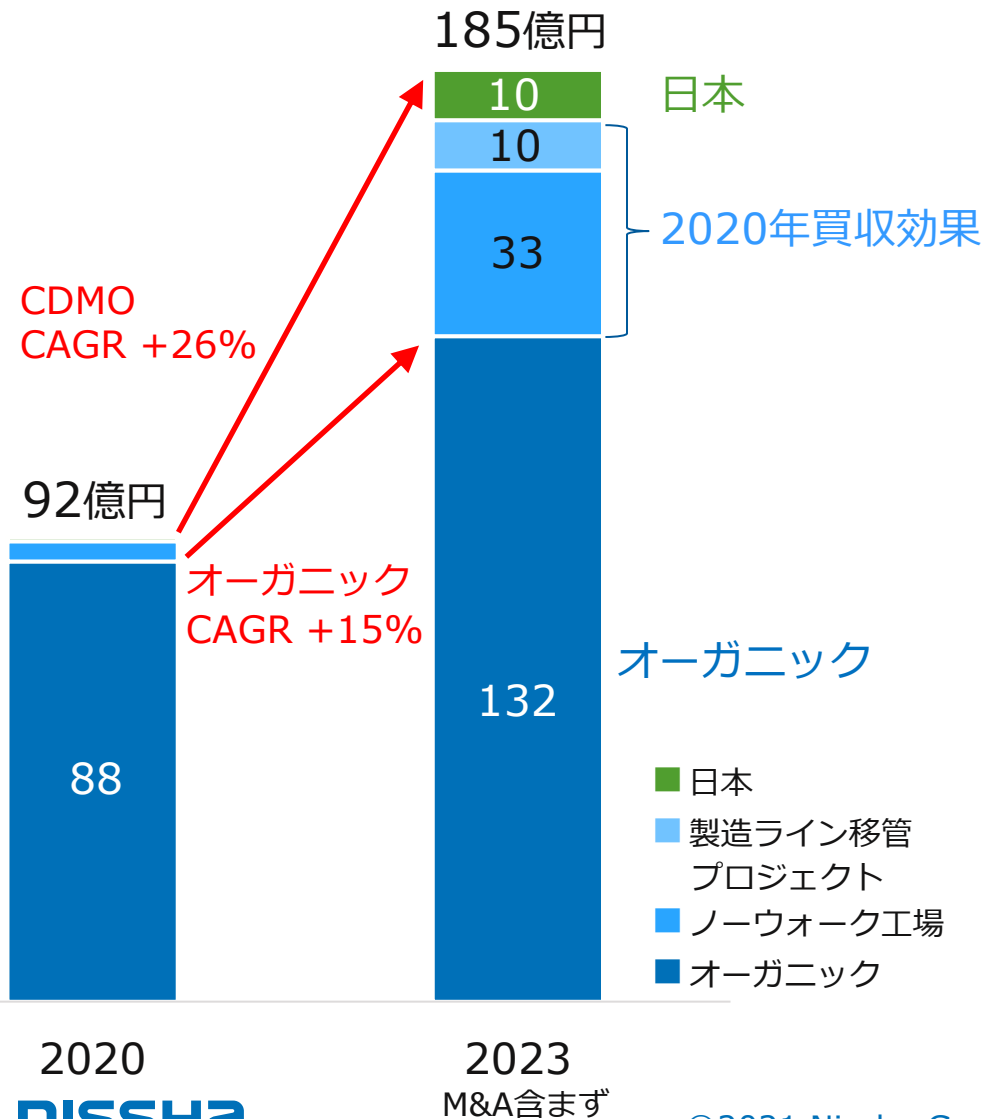
# メディカルテクノロジー事業 第7次中期経営計画

## 第7次中期経営計画

売上高350億円 営業利益率8.6%を目指す  
CDMOが成長ドライバー



# CDMO売上高拡大のブレークダウン



## オーガニック

- COVID-19からの回復
- 新規案件の受注機会は豊富

## 2020年買収効果

- 買収した工場の売上高成長（ノーウォーク工場）
- 製造ライン移管プロジェクト（オリンパス米国拠点から）

## 日本での展開

- 日本でCDMOを推進

# 2020年買収効果

## 製造能力の獲得

- ノーウォーク工場を資産買収
- 製造ライン移管プロジェクト
  - オリンパスから当社工場へ



## 診断領域の拡大

- ノーウォーク工場
  - 泌尿器科
  - 呼吸器科
  - 産婦人科
  - 消化器科
- 製造ライン移管プロジェクト
  - 耳鼻咽喉科



泌尿器科向け

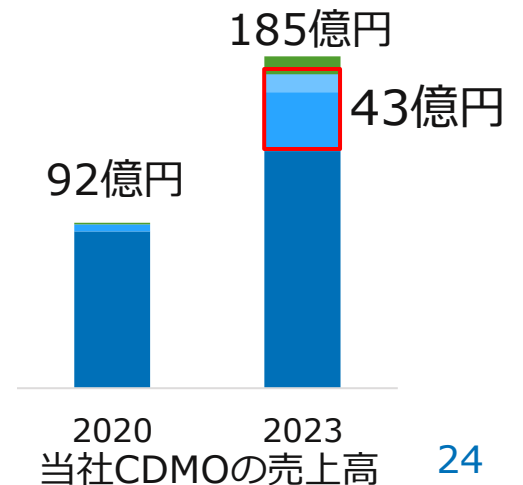


呼吸器科向け

※写真はイメージです

## 業績貢献

- ノーウォーク工場
  - オリンパス向けに既存製品、新規製品を供給
  - グローバル医療機器OEMからの受注拡大
  - 売上高33億円（2023）
- 製造ライン移管プロジェクト
  - オリンパス向けに既存製品、新規製品を供給
  - 売上高10億円（2023）



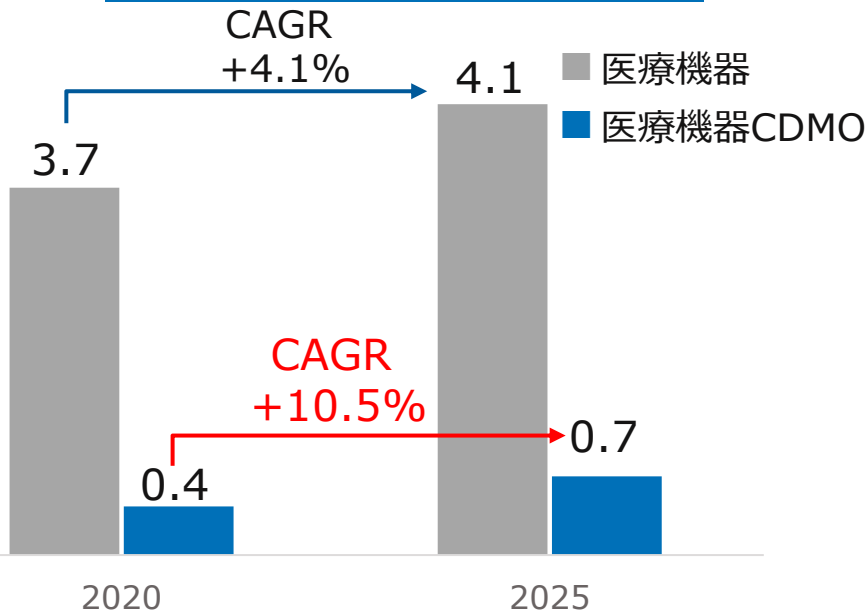


# 日本でCDMOを推進

## 日本の医療機器CDMO市場が拡大

- グローバル医療機器OEMのアメリカ上市後の地域展開
  - 日本の地域特性への対応の増加

### 日本の医療機器市場（兆円）



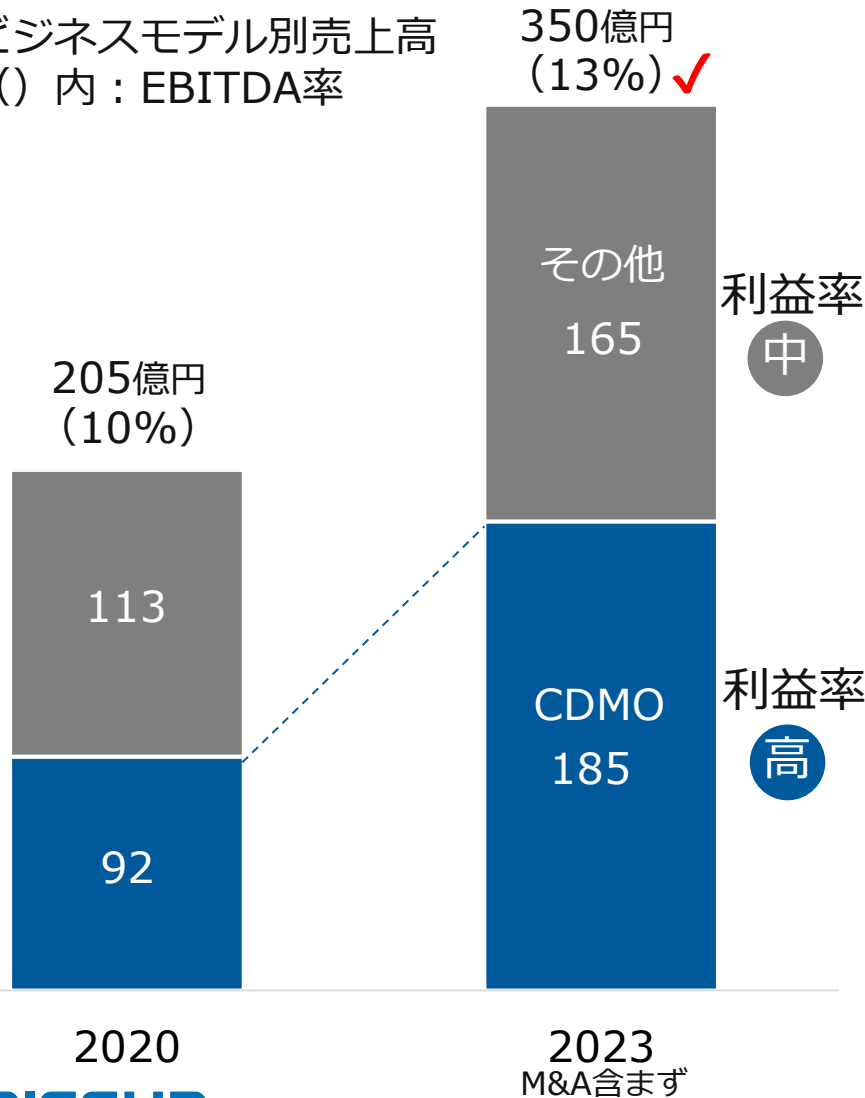
## 成長シナリオ

- グローバル医療機器OEMと日本の地域特性に対応した製品開発を実現
  - アメリカでの実績を基にグローバル医療機器OEMからの受注を獲得
- デバイス事業の能力を活用し、医療機器OEMと共同開発
  - 小型化
  - 操作性
  - センサー機能



# CDMOに注力し、事業利益率を改善

ビジネスモデル別売上高  
( ) 内：EBITDA率



- 利益率の高いCDMOを拡大
- 設計・開発能力の拡充により付加価値を増加

本プレゼンテーションに掲載されている情報および決算説明会・カンファレンスで提供される情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、その他過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性があります。